

## 〈概要〉

27年度は、新潟市が中国・韓国の開催都市と芸能や芸術、食文化などの交流を実施する「東アジア文化都市」に選定された。その事業のなかで、当館は新潟市と共催による国際シンポジウム「東アジアにおける『書の美学』の伝統と変容」を秋に開催する運びとなった。国際シンポジウムと関連展覧会を新潟市芸術文化会館りゅーとぴあ能楽堂とギャラリーおよび当館で開催。ギャラリーでは近現代の日本を代表する新潟ゆかりの書家、ならびに東アジア地域の現代作家の書を一堂で紹介する。また当館は特別展として「澄懷堂美術館名品展」を催す。

三重県四日市市にある澄懷堂美術館は、佐渡市出身で元農林大臣の山本悌二郎が収集した中国文物を収蔵する美術館である。生前、會津八一は山本悌二郎の招きにより、中国・宋、元、明、清時代の書画をみて感激した。日本の書画の源流である中国書画を中心に展示し山本の審美眼の高さを紹介する。同時開催として、にいがた文化の記憶館では「山本悌二郎と佐渡」をテーマに作品資料を展示。以上が東アジア文化都市交流の関連企画である。

また本年は會津八一記念館開館40周年にあたる。この節目の年に、春の企画展では、近年、會津八一記念館が所蔵した新収蔵品を中心に展示。秋は、戦中、戦後と會津を支援した人々との交流を描く企画展を計画。冬は、脳神経医学者・中田瑞穂、画家杉本健吉など、會津と心を通わせた友人の絵と會津の書の合作作品や自画賛、絵手紙を展示、會津の詩情溢れる世界を紹介する。

普及活動では、新たに、新潟日報とのタイアップにより、カルチャースクールに参画。当館の書簡整理ボランティアの先生と記念館学芸員による「會津八一と心友たちとの手紙」をテーマに半年間開講する。また写真コンテスト全国巡回展など開催する。

## 〈事業計画の内容〉

## (ア) 展覧会事業 開館日数 277日

分類	展覧会名(仮称)	会期	内容
1 企画展	會津八一記念館開館40周年記念 新収蔵品展	4月7日(火) ～7月20日(月祝) 91日間 一部作品入れ替えあり	平成24年から平成26年度、当記念館で新たに収蔵品を展示。内容は、會津八一の親族から一括寄贈を受けた會津の書作品、元評議員高島義彦氏が蒐集した中国明器(會津コレクションと同類)、會津が門下生で彫刻家奥田勝への説教状「與奥田勝書」(寄託品)などを披露する。
2 特別展	會津八一記念館開館40周年記念 東アジア文化都市2015新潟市 関連事業 「澄懷堂美術館名品」展 「山本悌二郎と佐渡」展	8月1日(土) ～9月9日(水) 35日間	會津八一記念館会場では、四日市の澄懷堂美術館から借用し、中国・宋、元、明、清時代の書蹟、絵画、文房具類の名品を展示。 にいがた文化の記憶館会場では、「山本悌二郎と佐渡」をテーマに作品資料を展示する。
	東アジア文化都市2015新潟市 関連事業 国際シンポジウム 東アジアにおける 「書の美学」の伝統と変容	9月1日(火)～9日(水) 9日間	新潟市芸術文化会館会場では、東アジアにおける「書の美学」の伝統と変容をテーマに開催。幕末から現代まで、巻菱湖、良寛、八一、江口草玄、薄田東仙ら新潟の書を主体とした「伝統の書」「破格の書」「前衛の書」をテーマに展示。東アジア地域の現代作家の書も一堂で紹介。
3 企画展	會津八一記念館開館40周年記念 會津八一と支援者たち	9月19日(土) ～12月6日(日) 68日間	戦中から戦後にかけて會津八一を支えた胎内市の丹呉家、新潟市の伊藤家、坂口家が所蔵する、會津八一作品やその交流を紹介。また、本年7月に胎内市で會津八一の「やまぼと」歌碑建立を記念にちなんだコーナーも企画。
4 収蔵品展	會津八一 詩画一致の世界 同時開催「會津八一の歌を映す」 第9回写真コンテスト入賞入選作品展	12月16日(水)～ 平成28年 3月27日(日) 83日間	収蔵品にある會津八一の自画賛、油絵、絵手紙のほか、八一の書に中田瑞穂、杉本健吉らが描いた画の合作作品を陳列し、詩画一致の世界を紹介。併せて第9回写真コンテスト入賞入選作品展を同時に展示する。

展示替え、研修のための休館日	6/1,2	7/21～31	9/10～9/18	12/7～15
作品解説会	常設展・企画展	期間中	月2回(第2、4日曜日)	午前11時
	特別展	期間中	毎週土曜、日曜日	午前11時

## 【第2号議案】

〈行事〉

### (イ) イベント ※交渉予定も含む

- (1) 特別展開場式 7月31日 午後 日報ホール  
内覧会 夕方 會津八一記念館・にいがた文化の記憶館
- (2) 特別展一般公開 8月 1日 午前10時～  
八一祭記念・文芸講演会 午後2時～3時30分、日報ホール
- (3) 東アジア文化都市2015新潟市 東アジアにおける「書の美学」の伝統と変容  
9月2日(水)～9月5日(土)

- 1日目：展覧会見学 : 新潟市芸術文化会館りゅーとびあ ギャラリー  
會津八一記念館、にいがた文化の記憶館
- 記念講演会 : メディアシップ 日報ホール
- ウエルカムパーティ: ホテルオークラ新潟
- 2日目：シンポジウム: 新潟市芸術文化会館りゅーとびあ 能楽堂
- 3日目：シンポジウム: 新潟市芸術文化会館りゅーとびあ 能楽堂  
フェアウエル・パーティ: 未定
- 4日目：書のパフォーマンス : メディアシップ みなと広場  
大学生のワークショップ: メディアシップ そらの広場

### (4) 〈講演会〉

八一祭記念文芸講演会 講師：杉村邦彦氏  
(澄懷堂美術館学術顧問、京都教育大学・四国大学名誉教授) 交渉予定  
演題：「澄懷堂美術館と山本悌二郎」(仮)  
日時：平成27年8月1日(土) 午後2時～3時30分  
会場：メディアシップ 日報ホール  
定員：200人

文芸講演会① 講師：萱のり子氏(大阪教育大学教授)  
演題：「會津八一の書簡の魅力」  
日時：平成27年5月15日(金)  
会場：日報ホール  
定員：200人

文芸講演会② 講師：和泉久子氏(鶴見大学名誉教授) 交渉予定  
演題：「會津八一と養女きい子」(仮題)  
日時：平成27年11月中  
会場：未定  
定員：未定

### (ウ) 「會津八一の歌を映す」第9回秋艸道人賞写真コンテスト

公募ポスターと応募用紙の制作と発送(平成27年4月中)

- ① 審査・結果発表(平成27年12月上旬)
- ② 表彰式：平成28年1月下旬または2月

## 【第2号議案】

### (エ) 学習講座 (会費で充当)

#### ① 館長美術講座

10月から12月まで3回シリーズ

会場：新潟日報ホール (案)

#### ② 會津八一の歌を読む会 「かまづかの会」

講師：若月忠信氏 (文芸評論家)

日時：毎月第1土曜日 午後1時30分～3時

会場：砂丘館

### (オ) 鑑定会 春秋2回を予定

春の部

日時：平成27年4月または5月 午後1時～3時

会場：會津八一記念館

### (カ) 旅行企画 (参加者負担) 時期は未定

會津八一の足跡を訪ねる旅を計画

### (キ) アウトリーチ活動

- ・4月に會津八一の作品を所蔵しているところ、あるいは団体鑑賞でよく記念館を利用している学校や公民館などに働きかけ案内を送り、依頼のあるところから実施

### (ク) 他団体との関連イベント

#### ○「會津八一の歌を映す」写真コンテスト巡回展

・早稲田大学會津八一記念博物館 平成27年4月1日～11日(入賞のみ)

・市島邸(新発田市) 4月16日～5月10日

・ミュゼ雪小町(上越市) 5月15日～6月7日

・いかるがホール(奈良県斑鳩町) 6月11日～20日(入賞のみ)

・奈良県立図書情報館 6月23日～7月5日

・相国寺承天閣美術館 夏(入賞のみ)

・胎内市中央公民館(會津八一記念事業実行委員会主催) 11月上旬予定

・中村屋サロン美術館(東京・新宿) 平成28年3月19日～4月中旬(相談中)

(※他にも相談中施設有)

#### ○歌碑建立除幕式典

胎内市・會津八一会主催 柴橋庵歌碑「やまばとの」建立除幕式(予定)

日時：平成27年7月10日 時間未定 会場：胎内市・柴橋庵

#### ○新潟日報カルチャースクール

##### ①「會津八一と心友たちとの手紙」～書簡の魅力～

日時：平成27年4月～9月 月1回(ただし5月は休講、6月は月2回) 午前10時～12時

会場：新潟日報メディアシップ7階

講師：「雁魚来往」研究会会員(渡辺恒美氏、近藤悠子氏、角田勝久氏)と

會津八一記念館学芸員(喜嶋奈津代、湯浅健次郎)

##### ②「肩の凝らない日本美術史講座」

日時：平成27年4月～9月 全11回 第2、4木曜日午前

会場：新潟日報メディアシップ7階

講師：會津八一記念館学芸員 湯浅健次郎

#### ○第31回 民族藝術学会大会 新潟

日時：平成27年4月25日(土)、26日(日)

主催：民族芸術学会

会場：新潟日報メディアシップ 2F日報ホール(25日)、6Fナレッジルーム(26日)

テーマ：「新潟の芸能と文化」